

令和6年度 第5回 物見山スワンの家 運営推進会議議事録

日時	令和6年 12月20日 金曜日 14:00~14:20	
場所	物見山スワンの家 会議室	
出席者	住民代表	物見山3丁目自治会長 棚田様
	利用者ご家族代表	薄田様
	地域包括支援センター	田村様
	グループホーム空港西様	欠席
	スワン・パートナーズ株式会社	藤島
	施設職員	所長 宮村(司会) 計画作成担当 今井

1、議事

① 事業活動報告

◎入居者状況

(介護度の内訳) 12月20日現在

要介護1…5名 要介護2…5名 要介護3…5名 要介護4…2名 要介護5…1名

計18名 女性18名

平均要介護度…2.4 平均年齢…86歳

1名 服薬調整のため入院中

10月、11月 1名ずつ他施設入所のため退居される

12月 新規入居2名

◎事故・ヒヤリハット(10~11月)

		内容	その後の対応
10月	事故 6件 ヒヤリハット なし	①転倒4件(居室内・椅子から立ち上がり時) ② 外傷1件 (車いす乗車時腕に受傷) ③誤薬1件(粉薬を水で溶いた後ほかの方に飲ませてしまった)	①室内の環境整備と歩行不安定のためセンサーマットの使用 ・靴をちゃんと履いているか確認、立ち上がりの際の見守り ②車いすアームレストにタオルでクッションを付ける ③ 薬を解いて提供する時は記名の入った薬ケースも一緒に本人の前まで持っていく
11月	事故 3件	①転倒2件(居室内 手引き介助中) ②薬剤1件(ゴミ箱に錠剤が入っている)	①居室で歩行器を使用していただくよう声かけ 両手引き又は腕組歩行とする ② 薬杯の使用
11月	ヒヤリハット 1件	薬剤1件	外出時の薬の確認を怠らない

◎活動報告（別紙活動報告あり）

11月 外出ドライブ

12月 クリスマス会

◎職員研修

11月 （内部研修）認知症ケア研修
高齢者の病気についての研修

12月 （内部研修）身体拘束適正化・利用者のプライバシー研修
AED研修（外部講師 アルソック様）
（外部研修）意思決定支援研修会 1名

10月~12月 （外部研修）認知症介護実践者研修 1名

③身体拘束適正化委員会

現在身体拘束は行っておりません。

夜間の2階ユニットの施錠は必要のため継続し、毎月施錠が必要な状況であるか確認をしています。

12月身体拘束研修について

身体拘束事例について話し合いや意見交換を行いたいと思います。

④苦情報告

なし

⑤ご意見等

・身体拘束の研修について、具体的に事例があることで今まで拘束と思っていたことが拘束の場合もあるとわかるので良いと思います。

・今回転倒が多かったが、転倒した人を起こすのはどうしているのか？（人が倒れているのを起こす事は難しいので）

→今月は転倒が多かったですが、怪我や痛みがなかったので次回転倒がないようにそれぞれ対応策を立てています。

今回の転倒も横になって倒れたわけではなく、しりもちをついてしまう程度で大きなけがにはつながりませんでした。しりもち程度でしたら大体の場合一人介助で起こすことができます。日中は職員が二人以上いるので一緒に起こすこともあります。

以上